

レポート

2025 年大阪・関西万博の来場者(国内居住・一般来場者)分析

～携帯電話位置情報データによる分析～

政策研究事業本部 研究開発第 2 部(大阪) 地域経済分析・産業振興グループ
上席主任研究員 遠香 尚史

2025 年 4 月 13 日に開幕した 2025 年大阪・関西万博(以下、万博)は、184 日間を経て、2025 年 10 月 13 日に閉幕した。本レポートでは、万博来場者のうち国内に居住する一般来場者に着目し、携帯電話位置情報データ(許諾を得た GPS データをもとに、居住人口で拡大推計したデータ)を活用し、居住地域別の来場者数、周辺観光地への影響、性別・年齢階級別来場者数について分析を行った¹。

なお、本レポートに含まれていないインバウンドの万博来場者を対象とする分析レポートを後日公表予定である。

1. 使用データと分析対象

本レポートでの来場者分析には、クロスロケーションズ株式会社が提供する携帯電話位置情報データ提供サービス「Location AI Platform(以下、LAP)」を使用した。LAP では国内に居住する携帯電話ユーザーが来訪した地点ごとに、ユーザーの居住地域の構成比や性別・年齢階級別来場者数などが把握可能であり、この機能を用いて、万博来場者の特徴や関西地域内の主要観光スポットの来場数に与えた影響等について分析を行った。

なお、万博来場者のデータには、来場頻度や移動経路が一般来場者とは異なる AD 証(関係者入場証)の入場者(以下、AD 証入場者)が含まれている。また、LAP のデータにはインバウンドは含まれていない。このため、本レポートでは、公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会(以下、協会)が公表した総来場者数から、AD 証入場数、インバウンドの入場者数を除外した「国内に居住する一般来場者」を分析対象とすることとした²。

¹ 2025 年 10 月 14 日 付けニュースリリース「[【速報】2025 年大阪・関西万博の来場者分析\(国内居住者\)](#)」(以下、ニュースリリース)では、入手可能なデータの制約により、9 月 27 日までのデータを用いた分析結果を提示した。本レポートでは、万博開催期間(2025 年 4 月 13 日～10 月 13 日)のデータを用いるとともに、協会公表資料から得られる来場者数データを参照しながら分析を行っている。そのため、ニュースリリースと本レポートでは、グラフ等の数値が異なっている。

² ニュースリリースでは、AD 証入場者を含めて分析を行っていた。AD 証入場者数、インバウンドの来場者数を控除した居住地域別来場者数を整理する方法については、最終頁の[Appendix]に記載する。

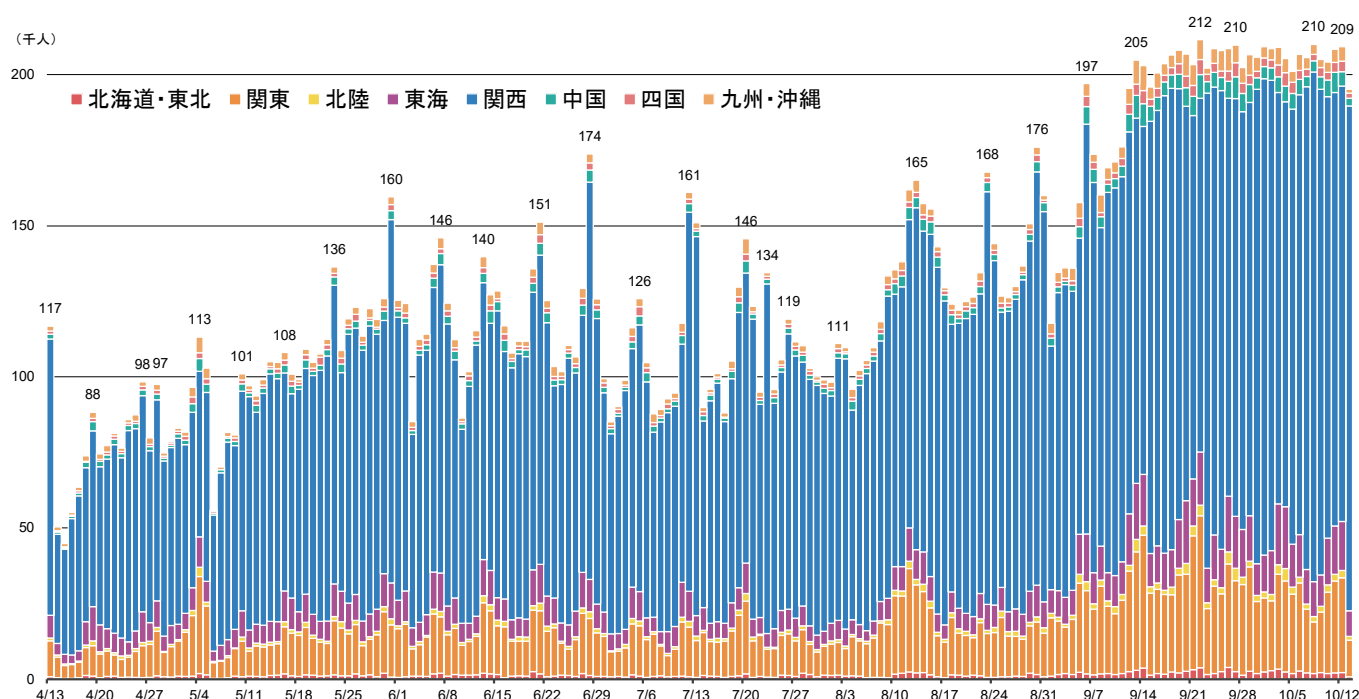
2. 居住地域別来場者数の概要

(1) 開幕から閉幕までの来場者数の推移

万博開幕から閉幕までの国内に居住する一般来場者数の日別推移は、以下の図表 1 のとおりである。9 月初旬までは、週末を含む金曜日から月曜日にかけて来場者数が増加し、万博内のイベント等のタイミングで来場者が急増する状況が続いていた。しかし、9 月中旬以降は連日来場者が 20 万人以上を超え、入場予約が困難な状況となるなど、会期終盤の盛り上がりの大きさがうかがえる。

会期全体を通じて関西地域からの来場者数が多く、会期後半になるにつれて、関西地域外からの来場者数も増加し、会期終盤で一般来場者数が最多の 212 千人となった 9 月 22 日には、関西地域外からの来場者も 94 千人を超えている。

図表 1 開幕から閉幕までの万博一般来場者数の推移(居住地域別)



(注 1) 対象期間:2025 年 4 月 13 日～10 月 13 日。

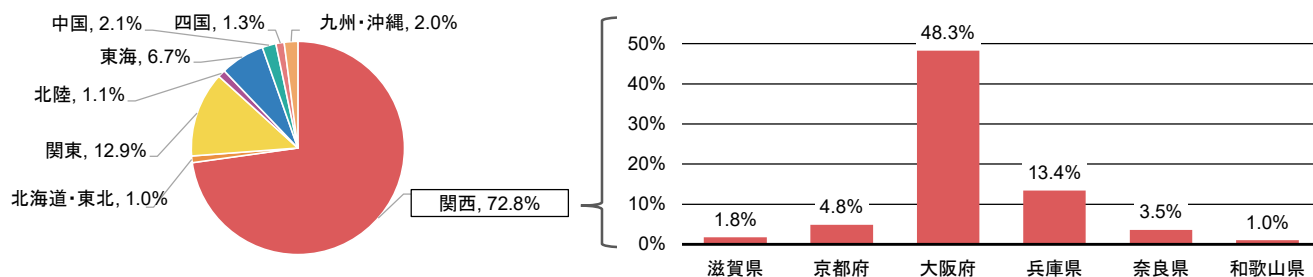
(出所) クロスロケーションズ(株) LAP のデータ、協会公表資料をもとに当社作成

(2) 来場者の居住地域

万博開催期間を通じた国内に居住する一般来場者(延べ来場者)の居住地域別構成比は、以下の図表 2 に示すとおりである。来場者のほぼ半数(48.3%)を地元大阪府が占め、大阪府を含む関西地域全体では 72.8%と全体来場者の約 4 分の 3 が関西地域からであった。

地域別では、関西に続いて来場者が多いのが関東(12.9%)、続いて東海(6.7%)となっている。関西地域内の府県別では大阪府(48.3%)、兵庫県(13.4%)、京都府(4.8%)、奈良県(3.5%)の順であった。

図表 2 万博一般来場者の地域・府県別構成比



(注 1) 対象期間:2025 年 4 月 13 日～10 月 13 日。

(注 2) 上記期間中の延べ来場者数に基づく構成比。

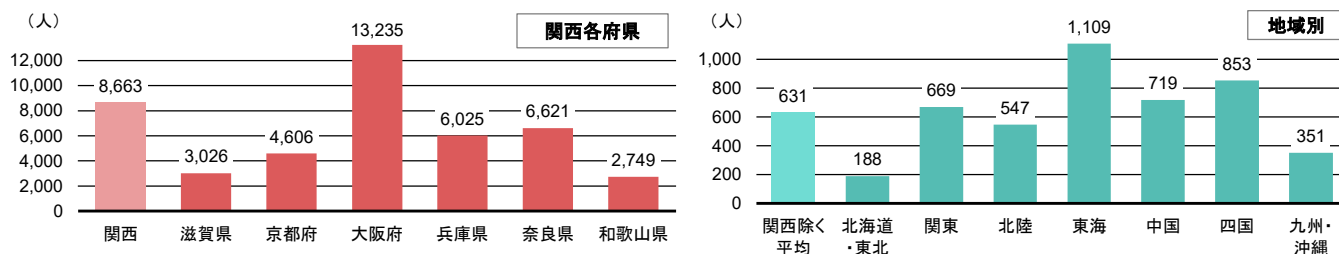
(注 3) 端数処理のため、合計 が 100 %にならない場合がある。

(出所) クロスロケーションズ(株) LAP のデータ、協会公表資料をもとに当社作成

(3) 居住地域別の人口あたり来場者数

居住地域別の人口 1 万人あたりの来場者数(延べ人数)を見ると、関西が 8,663 人と最も多い。関西地域内の府県別では、大阪府が 13,235 人で最も多く、次いで奈良県(6,621 人)、兵庫県(6,025 人)、京都府(4,606 人)の順となっている。一方、関西以外の平均は 631 人であり、その中では東海が 1,109 人と最も多く、次いで四国(853 人)、中国(719 人)となっている。

図表 3 居住地域別の人口 1 万人あたり万博一般来場者数



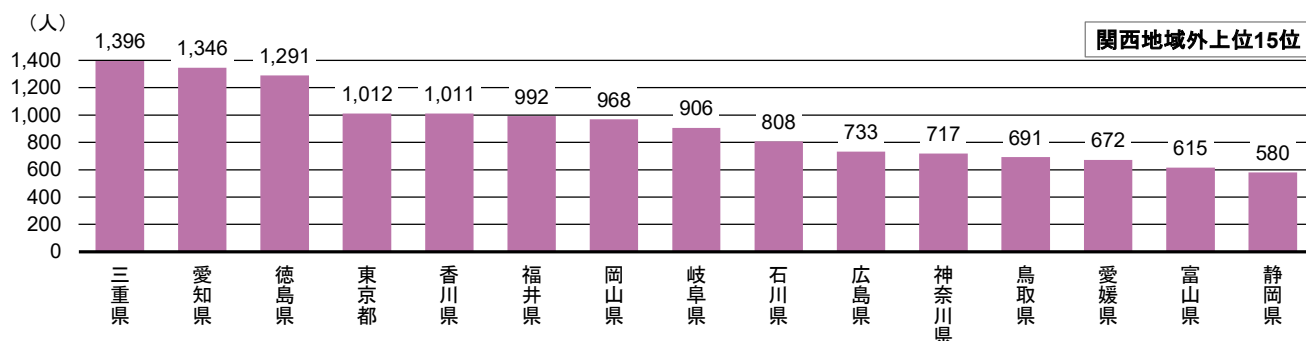
(注 1) 対象期間:2025 年 4 月 13 日～10 月 13 日。

(注 2) 上記期間中の地域別、府県別延べ来場者数を各地域・府県の人口で除して算出した。

(出所) クロスロケーションズ(株) LAP、総務省統計局「人口推計 各年 10 月 1 日現在人口 令和 2 年国勢調査基準 統計表」から得られる 2024 年 10 月 1 日の都道府県別人口、協会公表資料のデータをもとに当社作成

関西地域外の都道府県別では、関西地域に近い三重県(1,396 人)、愛知県(1,346 人)、徳島県(1,291 人)などのほか、東京都(1,012 人)、石川県(808 人)、神奈川県(717 人)など、関西地域から離れていても、人口 1 万人あたりの来場者数が多い都県が見られる。

図表 4 関西地域外都道県の人口 1 万人あたり万博一般来場者数



(注 1) 対象期間:2025 年 4 月 13 日～10 月 13 日。

(注 2) 上記間中の都道府県別延べ来場者数を各都道府県の人口で除して算出した。

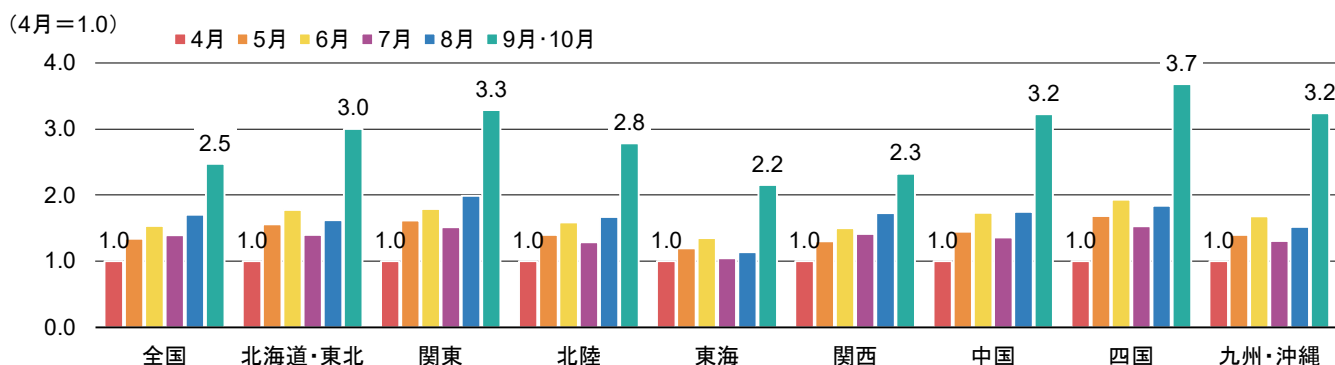
(出所) クロスロケーションズ(株) LAP、総務省統計局「人口推計 各年 10 月 1 日現在人口 令和 2 年国勢調査基準 統計表」から得られる 2024 年 10 月 1 日の都道府県別人口、協会公表資料のデータをもとに当社作成

(4) 居住地域別の万博一般来場者の推移

開幕の 4 月から閉幕の 10 月まで、万博の 1 日あたり一般来場者数は増加傾向で推移してきた。4 月の来場者数を 1.0 とした場合の 9 月・10 月の来場者数の水準を居住地域別に見ると、西日本の各地域では、四国が 3.7 倍、中国、九州・沖縄が 3.2 倍となっており、関東でも 3.3 倍、北海道・東北でも 3.0 倍と高い増加率を示している。

一方、地元関西では 2.3 倍、隣接する東海では 2.2 倍にとどまり、他地域に比べて増加率は低い水準となっている。

図表 5 居住地域別の月別 1 日あたり万博一般来場者数の伸び(4 月=1.0)



(注 1) 対象期間:2025 年 4 月 13 日～10 月 13 日。

(注 2) 上記期間中の地域別延べ来場者数を各地域の人口で除して算出した。

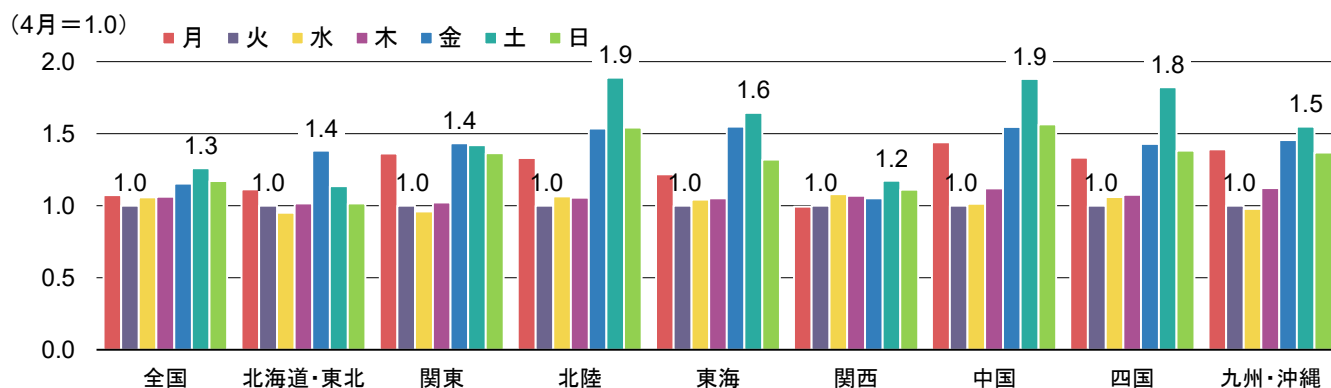
(出所) クロスロケーションズ(株) LAP、総務省統計局「人口推計 各年 10 月 1 日現在人口 令和 2 年国勢調査基準 統計表」から得られる 2024 年 10 月 1 日の都道府県別人口、協会公表資料のデータをもとに当社作成

(5) 居住地域別・曜日別の万博一般来場者数

万博における曜日別の一般来場者数を見ると、火曜日が最も少なく、土曜日が最も多い傾向が確認される。火曜日の来場者数を 1.0 とした場合、土曜日は 1.3 となり最も高い水準となっている。地域別に見ると、関西では土

曜日でも 1.2 程度にとどまるが、他の地域では曜日による差がより大きい。特に、北陸および中国地方では 1.9、四国では 1.8 となっており、関西に比べて曜日ごとの変動幅が大きいことが確認できる。

図表 6 火曜日を 1.0 とした場合の居住地地域別曜日別万博一般来場者数



(注 1) 対象期間:2025 年 4 月 13 日～10 月 13 日。

(注 2) 各居住地域別の万博来場者数を曜日別に集計し、それぞれ火曜日の来場者数で除した。また、各居住地域について最も数値が大きい曜日に数値ラベルを付した。

(出所) クロスロケーションズ(株) LAP、協会公表資料のデータをもとに当社作成

3. 万博がもたらした周辺主要観光地への影響

(1) 周辺府県における主要観光地の来訪者数(2024 年・2025 年比較)

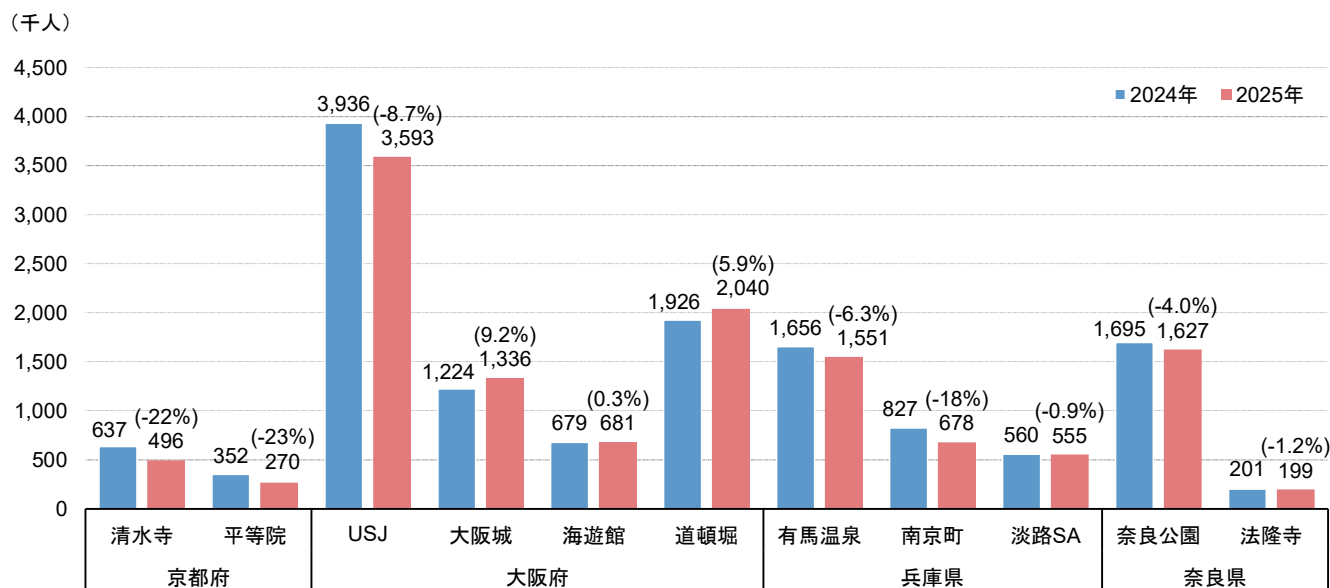
関西以外の各地域からの万博来場者は、万博の訪問に加えて周辺の観光地にも立ち寄っている可能性がある。そこで、周辺府県の主要観光地を対象に、万博開催期間(2025 年 4 月 13 日(日)～10 月 13 日(月・祝))と前年(2024 年:4 月 14 日(日)～10 月 14 日(月・祝))の来訪者数³を集計しその変化について分析を行った⁴。

集計結果によると、2025 年(万博開催期間)に来訪者数が増加した観光地は、大阪府内の大阪城、海遊館、道頓堀に限られ、その他の観光地では軒並み来訪者数は減少している。万博に多くの人々が来訪した結果、関西地域居住者を中心に、周辺府県の主要観光地への来訪が減少したものと推察される。

³ ここでの来訪者数は、LAP から得られる期間中の単純来訪者数(国内居住者)。

⁴ 平等院については、所在地である宇治市が NHK 大河ドラマ(光る君へ)の重要な舞台であったことを要因として 2024 年の来訪者数が大幅に増加したと推察される。このため、比較対象とする年を 2024 年から 2023 年に変更した。

図表 7 万博開催期間と前年同時期における大阪府・周辺府県の主要観光地の来訪者数(全国)



(注 1) 対象期間:2024 年 4 月 14 日(日)～10 月 14 日(月・祝)、2025 年 4 月 13 日(日)～10 月 13 日(月・祝)。

平等院の 2024 年のみ 2023 年 4 月 16 日(日)～2023 年 10 月 16 日(月)。

(注 2) ()内は、2024 年来訪者数に対する 2025 年来訪者数の変化率。

(出所) クロスロケーションズ(株) LAP のデータをもとに当社作成

(2) 周辺府県の主要観光地における都道府県別来訪者数(2024 年・2025 年比較)

関西以外の各地域からの万博来場者は、金曜日から月曜日にかけて増加することから、週末に宿泊を伴いながら周辺府県の観光地に立ち寄っていることが想定される。そこで、特に万博来場者が増加した 9 月と 10 月の金曜日から月曜日を対象に、2025 年と 2024 年の居住都道府県別の来訪者数を比較・分析した⁵。

地元大阪府の主要観光地については、関西地域各府県からの来訪者が大きく減少しているものの、関東をはじめとする関西以外の地域からの来訪者は増加している。特に、大阪城、海遊館、道頓堀では、関西地域からの来訪者の増加が、関西地域からの来訪者の減少を上回ったことから、来訪者全体としてもプラスとなった。USJ についても、合計では来訪者が約 5.2 万人減少したものの、関東からの来訪者数は増加している。

一方、京都府、兵庫県、奈良県の各観光地では、関西地域外からの来訪者の増加も一部には見られるものの、関西地域各府県からの来訪者の減少がこれを上回り、全体での来訪者数が減少していることが分かる。なお、特徴的な傾向として、兵庫県の淡路 SA では、四国地域居住者の来訪が増加していることが確認される。これは、万博への往復の際に、四国からの来訪者が淡路 SA に立ち寄るケースが増えていることが背景にあると考えられる。

⁵平等院については、所在地である宇治市が NHK 大河ドラマ(光る君へ)の重要な舞台であったことを要因として 2024 年には来訪者数が大幅に増加したと見込まれるため、2023 年に対する変化を集計した。

図表 8 主要観光地における居住地域別来訪者数の変化(2024 年～2025 年、9 月～10 月、金～月曜日)

(単位: 人)

居住 都道府県	京都府		大阪府				兵庫県			奈良県	
	清水寺	平等院	USJ	大阪城	海遊館	道頓堀	有馬温泉	南京町	淡路SA	奈良公園	法隆寺
北海道	-277	-71	-2,176	75	-612	1,045	-321	260	218	-206	26
青森県	50	-23	-136	-291	70	171	168	147	69	195	69
岩手県	195	8	240	678	165	102	92	79	9	73	0
宮城県	957	-30	260	1,909	520	851	-255	-496	-151	400	77
秋田県	87	78	340	475	112	77	38	-58	-116	-100	0
山形県	72	25	-76	-153	131	89	26	45	-40	42	-107
福島県	195	-89	-644	575	94	744	197	283	33	369	20
茨城県	272	-323	-15	867	-2	1,499	495	143	41	226	78
栃木県	319	-169	-128	1,308	34	301	161	111	67	-49	47
群馬県	280	164	594	1,207	357	965	501	175	-66	-748	-205
埼玉県	2,583	764	2,492	5,217	1,142	7,088	999	-300	75	-197	86
千葉県	-816	8	180	2,643	1,837	3,973	275	118	94	-160	471
東京都	1,111	625	8,829	11,415	3,370	15,676	4,555	-74	181	3,389	1,444
神奈川県	-268	-438	4,371	8,360	3,294	7,938	-964	257	-3	31	-102
新潟県	140	-197	-279	1,266	235	970	191	299	20	648	73
富山県	-127	-121	168	437	103	1,069	265	-196	33	322	-69
石川県	-678	111	-313	752	61	937	736	-155	-131	358	29
福井県	-190	-285	-1,263	441	-405	215	68	-166	-370	265	243
山梨県	-133	31	604	810	-91	695	406	29	169	-12	-106
長野県	169	195	124	870	689	1,503	7	383	-82	378	-115
岐阜県	-547	285	-3,080	570	689	255	624	497	73	-817	78
静岡県	-484	929	-268	2,781	1,363	2,878	554	-335	-178	-357	481
愛知県	-2,394	-272	-9,737	1,996	2,215	3,856	-1,724	-1,479	328	-6,467	28
三重県	-105	468	-2,578	-337	-188	792	246	-221	-241	-1,789	48
滋賀県	-798	-693	-1,290	-326	24	-171	-1,315	-1,382	293	-813	-342
京都府	1,394	-7,905	-4,116	-341	-1,596	1,096	-1,593	-2,240	638	-4,984	-1,464
大阪府	-2,463	-1,786	-19,384	-19,210	-764	-45	-14,766	-6,673	-5,527	-14,234	-1,627
兵庫県	-1,985	-1,018	-10,597	130	-1,044	-372	-10,272	-8,829	-2,439	-1,793	-685
奈良県	-474	-133	-4,756	-779	-732	-626	-1,034	-55	-622	-7,131	-1,169
和歌山県	-448	116	-990	0	166	-350	-9	-16	-542	-1,366	-357
鳥取県	-380	21	-641	133	-246	-49	-18	-339	-97	-299	-107
島根県	-109	11	-33	448	-133	512	-37	-131	33	-238	-206
岡山県	112	-29	-1,314	-84	479	-12	608	-185	-202	-149	-149
広島県	-657	-10	-1,269	264	93	418	-397	-18	-165	-692	298
山口県	-229	59	-746	541	649	199	973	292	138	191	-61
徳島県	-168	186	-1,212	-619	-350	-333	-1,606	-646	514	-324	124
香川県	-46	-47	-990	113	53	357	43	176	2,301	50	250
愛媛県	-200	-47	-815	335	207	967	-493	243	826	540	173
高知県	-52	-80	-62	-269	222	283	-48	114	1,019	132	113
福岡県	-214	583	-832	2,778	-262	2,338	-499	747	91	993	-104
佐賀県	139	199	-145	295	-13	332	206	321	-98	172	97
長崎県	173	127	-186	-42	-353	0	102	46	-43	225	0
熊本県	-168	118	236	348	668	797	-361	263	202	136	71
大分県	362	22	252	189	440	323	125	105	-1	-102	-237
宮崎県	-153	20	-884	-141	-161	296	-229	-92	81	224	0
鹿児島県	111	-122	461	1,193	191	776	-116	-34	-122	302	58
沖縄県	-239	80	-468	569	361	724	425	280	23	-193	41
合計	-6,082	-8,654	-52,272	29,396	13,083	61,150	-22,971	-18,706	-3,667	-33,557	-2,687

(注 1) 対象期間:2024 年 9 月 6 日～10 月 14 日、2025 年 9 月 5 日～10 月 13 日。平等院の 2024 年のみ 2023 年 9 月 8 日～2023 年 10 月 16 日。

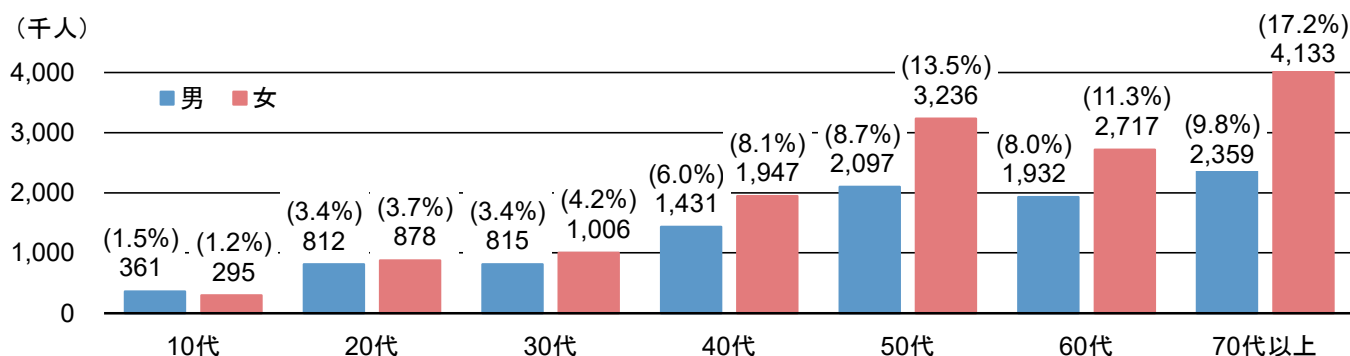
(注 2) 上記対象期間の金～月の来訪者数を集計。

(出所) クロスロケーションズ(株) LAP のデータをもとに当社作成

4. 性別・年齢階級別の来場者数

万博の一般来場者数を性別・年齢階級別に集計すると、70代以上の女性が413万人と最も多く、次いで50代女性が324万人、60代女性が272万人となっている。さらに、40代女性(195万人)を加えると、40代以上の女性の合計は1,203万人となり、国内居住の一般来場者総数(2,402万人)の50%以上を占めていた。

図表 9 性別・年齢階級別の万博一般来場者数



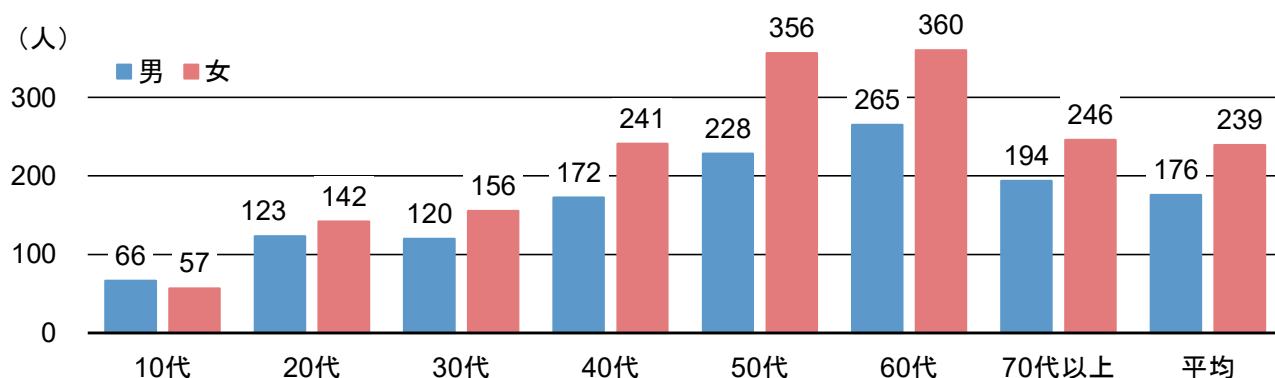
(注 1) 対象期間:2025 年 4 月 13 日～10 月 13 日。性別・年齢階級別に、万博来場者数を人口で除して算出した。

(注 2) ()内は、国内に居住する一般来場者総数に対する比率。

(出所) クロスロケーションズ(株) LAP、協会公表資料のデータをもとに当社作成

人口千人あたりで見ると、60代女性が最も多く360人、次いで50代女性が356人と多くなっているほか、10代以外の各年齢階級において、女性の来場者数が男性を上回っている。

図表 10 性別・年齢階級別の人口千人あたり万博一般来場者数



(注 1) 対象期間:2025 年 4 月 13 日～10 月 13 日。性別・年齢階級別に、万博来場者数を人口で除して算出した。

(出所) クロスロケーションズ(株) LAP、総務省統計局「人口推計 各年 10 月 1 日現在人口 令和 2 年国勢調査基準 統計表」から得られる 2024 年 10 月 1 日の性別・年齢階級別人口、協会公表資料のデータをもとに当社作成

5. 分析結果のまとめ

国内に居住する万博一般来場者の居住地別分析により、今回の万博の一般来場者の約半数は地元大阪府の居住者であり、大阪府を含む関西地域からの来場者が全体の約 4 分の 3 を占めることが確認された。人口あたりの来場者数から見ても、大阪府、関西地域各府県の来場比率は他地域を圧倒していた。大阪、関西地域を中心とする多くの来場者からの発信による全国的な関心の高まりもあって、会期後半にかけて関西地域外からの来場者が大きく増加し、会期終盤の一般来場者数は連日 20 万人を超える状況となった。

このように万博が多くの来訪者を引きつけたことで、大阪府や周辺府県の主要観光地では関西地域からの来訪者が大きく減少することとなった。しかし、特に大阪城や海遊館、道頓堀で顕著な傾向が確認されたように、万博来場者が増加した時期に、関東をはじめとする関西以外の地域からの来訪者の増加が確認されるなど、万博来場者とその前後の日に、周辺の観光地を訪問する動きにつながっていたものと考えられる。

性別・年齢階級別の来場者数を見ると、10 代以外の全ての年齢階級で女性が男性を上回り、特に 50 代以上の女性の来場者数が多いことが確認された。また男女ともに、万博がシニア層に強くアピールしていることが分かる。

[Appendix]

1. 都道府県別一般来場者数(日別)の算出方法

協会資料によれば、開催期間中の日別来場者総数およびその内数として AD 証入場者数が示されている。また、一般来場者に占めるインバウンド(海外からの来場者)の割合は 6.1%とされている。

一方、LAP から得られる万博来場者の都道府県別来訪割合には AD 証入場者数が含まれている。また、LAP によれば、来訪頻度別(1 日以上～5 日以上の 5 段階)の都道府県別来訪割合を求めることが出来る。

以上を踏まえ、各都道府県別の一般来場者数は以下の手順で推計した。

(1) 国内に居住する来場者数の算出

日別来場者総数からインバウンド(6.1%)を除外⁶し、国内に居住する来場者数を算出した。

$$\text{国内に居住する来場者数(日別)} = \text{来場者総数(日別)} \times 93.9\%$$

(2) 日別・都道府県別来場者数の算出

LAP から得られる都道府県別来訪割合を国内に居住する来場者数(日別)に乗ずることにより、各都道府県別の来場者数を算出した。ただし、この来場者数には AD 証入場者数が含まれている。

$$\text{都道府県別来場者数(日別)} = \text{都道府県別来訪割合(日別)} \times \text{国内に居住する来場者数(日別)}$$

(3) AD 証入場者数の都道府県別推計(週別)

AD 証入場者として、週に 3 日以上万博に来場した者を分析上の「AD 証入場者」と仮定し、LAP から、週ごとに「3 日以上万博に来場した者」を対象として都道府県別割合を算出した。これを該当週の AD 証入場者数(週別)に乗ずることにより、都道府県別の AD 証入場者数(週別)を求めた。

$$\text{都道府県別 AD 証入場者数(週別)}$$

$$= \text{週 3 日以上来場者の都道府県別割合(週別)} \times \text{AD 証入場者数(週別)}$$

(4) 来場者数に占める AD 証入場者数割合(週別)の算出

都道府県別に、来場者数のうち AD 証入場者数が占める割合を週別に算出した。例えば大阪府に居住する AD 証入場者数が 40,000 人、来場者数が 200,000 人の場合、20%と計算される。

$$\text{来場者に占める AD 証入場者割合(都道府県別、週別)}$$

$$= \text{都道府県別 AD 証入場者数(週別)} \div \text{都道府県別来場者数(週別)}$$

(5) 都道府県別 AD 証入場者数(日別、調整前)の算出

都道府県別に、AD 証入場者割合(週別)を都道府県別来場者数(日別)に乗ずることにより、都道府県別 AD 証入場者数を日別に算出した。ただし、得られた都道府県別 AD 証入場者数(日別)の都道府県計(A とする)は、国内に居住する AD 証入場者数の日別合計(B とする)と合致しない。

⁶ 一般来場者、AD 証入場者ともに、インバウンドの割合を 6.1%と想定した。

都道府県別 AD 証入場者数(日別、調整前)

＝来場者に占める AD 証入場者割合(都道府県別、週別) × 都道府県別来場者数(日別)

(6) 都道府県別 AD 証入場者数(日別)の算出

都道府県別 AD 証入場者数(日別、調整前)について、各日別に「A/B」を乗ずることにより、都道府県別 AD 証入場者数(日別)を算出する。

都道府県別 AD 証入場者数(日別)＝都道府県別 AD 証入場者数(日別、調整前) × A/B(日別)

(7) 都道府県別一般来場者数の算出

算出した都道府県別 AD 証入場者数(日別)を、都道府県別来場者数(日別)から差し引くことにより、都道府県別一般来場者数(日別)を算出した。

都道府県別一般来場者数(日別)＝都道府県別来場者数(日別)－都道府県別 AD 証入場者数(日別)

2. 地域と都道府県の対応

地域と各都道府県の対応は、以下のとおりとした。

地域	都道府県
北海道・東北	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県
東海	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
北陸	新潟県、富山県、石川県、福井県
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

－ ご利用に際して －

- 本資料は、執筆時点で信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱 UFJ リサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡ください。